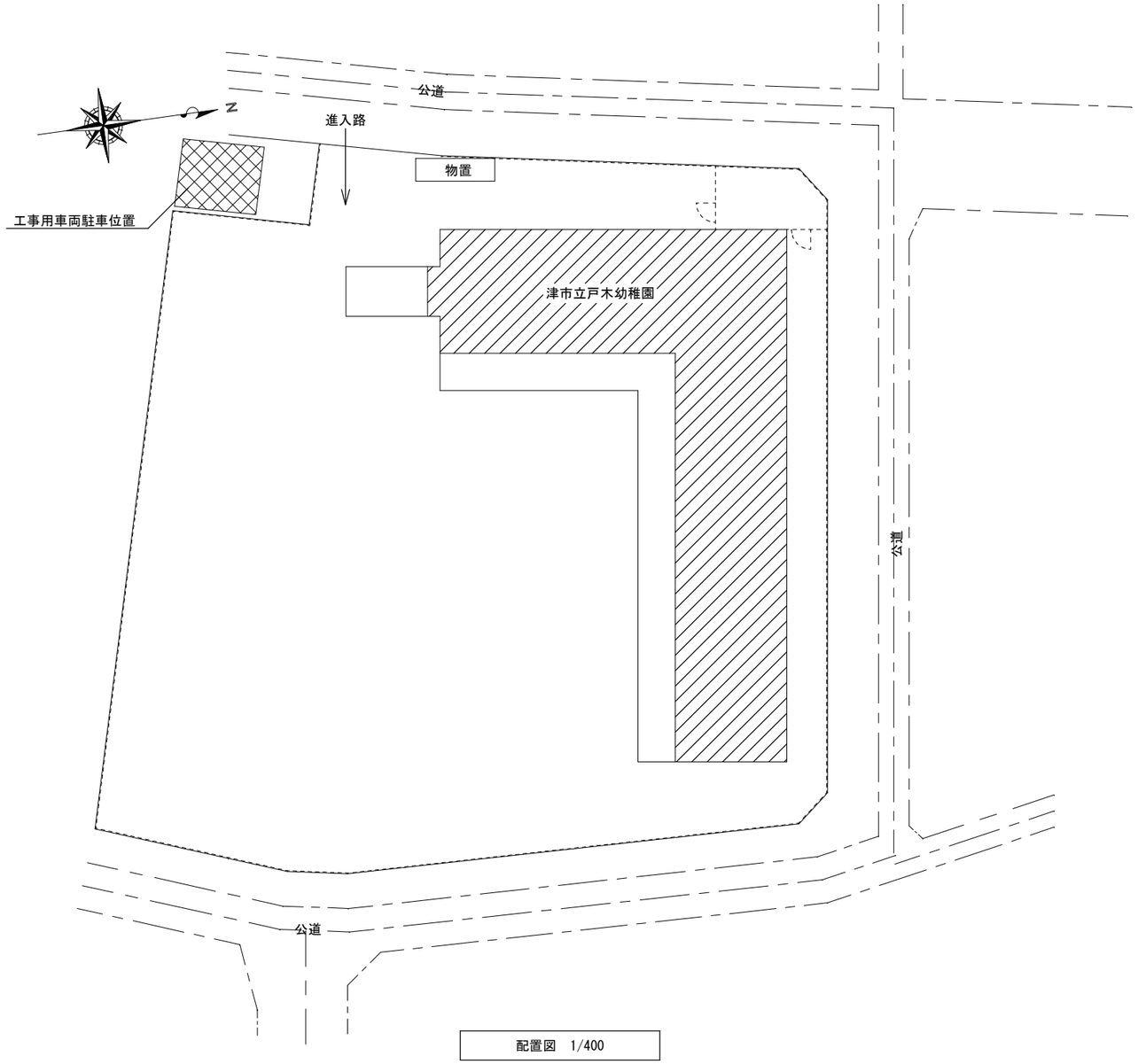
位置図



配置図　1/400

特記事項

（工事概要）

・保育室へ空調設備の設置を行う。

（施工条件）

・契約締結後速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
・工事期間中も施設を利用するため、安全対策として作業範囲にはコーンバー等を設置すること。
・本工事の現場施工にあたっては幼稚園運営に支障のないように、土日祝日及び春休み期間に施工を行うようにすること。
　ただし、平日であっても運営に影響のない範囲に限り施工を行うことを認める。
・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて
　既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
　なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に
　打合わせのうえ計画し施工すること。
・工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づいて、受注者は受注時において
　工事着手前に「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。
　また、工事完了後にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行い、「再生資源利用実施書」、
　「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出すること。

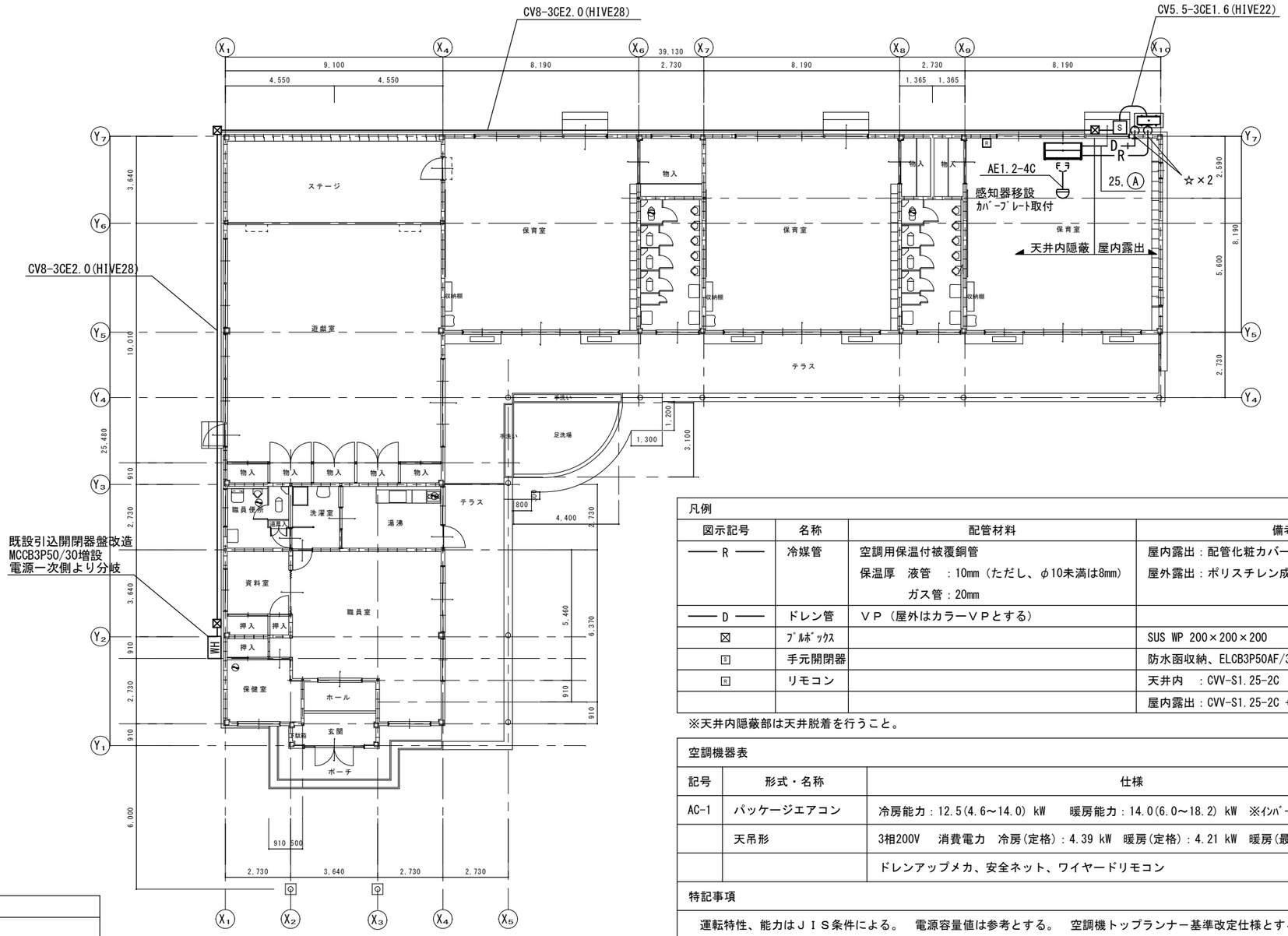
（解体撤去処分）

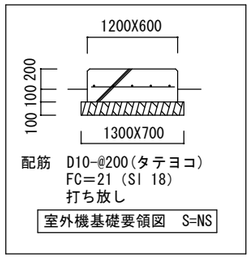
・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
　また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
・工事完了後、速やかに施工報告書(マニフェスト等の写しA・B2・D)を市監督員に提示すること。

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成28年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」
独立行政法人　建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市立戸木幼稚園保育室空調設備設置工事		縮尺 1/400
図面名称	位置図、配置図、特記事項	原図：Ａ３
		平成31年2月
津　市　建　設　部　営　繕　課		No. 1/2





※発生土は場外自由処分とする。

凡例			
図示記号	名称	配管材料	備考
―― R ――	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管 ：10mm（ただし、φ10未満は8mm） ガス管：20mm	屋内露出：配管化粧カバー 屋外露出：ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上げ
―― D ――	ドレン管	ＶＰ（屋外はカラーＶＰとする）	
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ		SUS WP 200×200×200
S	手元開閉器		防水函収納、ELCB3P50AF/30AT、SUS製
R	リモコン		天井内 ：CVV-S1.25-2C
			屋内露出：CVV-S1.25-2C ＋ ﾒﾀﾙﾓｰﾙA型

※天井内隠蔽部は天井脱着を行うこと。

配管図示記号	
――――	新設配管
☆	コア抜き箇所 100φ

※配管架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする

記号	冷媒配管サイズ		室内外連絡線
	液管	ガス管	
Ⓐ	φ9.52	φ15.88	VVF2.0-3C

※冷媒管の外壁貫通時は以下とする。
外部に向けて勾配を設けること。
サヤ管を設置すること。
※冷媒管の支持箇所には保温材保護プレートを使用すること。

空調機器表				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考
AC-1	パッケージエアコン	冷房能力：12.5(4.6～14.0) kW 暖房能力：14.0(6.0～18.2) kW ※ｲﾝﾊﾞｰﾀ能力は参考値	1	現場打ち基礎
	天吊形	3相200V 消費電力 冷房(定格)：4.39 kW 暖房(定格)：4.21 kW 暖房(最大低温)：6.53 kW		防振ゴム
		ドレンアップメカ、安全ネット、ワイヤードリモコン		

特記事項

運転特性、能力はＪＩＳ条件による。 電源容量値は参考とする。 空調機トップランナー基準改定仕様とする。 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。

室外機－室内機間の２次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 室外機はＳＵＳ製ボルトにて固定、Ｗナットにて締付けの事。

アンカーはケミカルアンカー仕様。 機器は同等品以上とする。 室外機は防振ゴムシート（ｔ＝１０以上）を敷くこと。

機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。

空調室外機への電源接続には防水プリカを使用のこと。

平面図 1/200

津市立戸木幼稚園保育室空調設備設置工事		縮尺 1/200
図面名称	機器表、凡例、平面図	原図：Ａ３ 平成31年2月
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 2/2